

みんなで“まちを育てる”フォーラム 市民ワークショップ

第6号

かわら版



平成27年6月
発行：岩手県立大学
盛岡短期大学部
内田研究室

サケのまち宮古PRキャラクター
サーモンくん&みやこちゃん

5月23日 第6回市民ワークショップが開催されました

宮古駅南側に計画中的新たな拠点施設のあり方や、現市庁舎跡地の活用方法、そしてこれらを核とする中心市街地地区に賑わいを産み出すためのアイデアについて話し合う「みんなで“まちを育てる”フォーラム」第6回目の市民ワークショップが、5月23日（土）に開催されました。

今回は「シナリオづくりワークショップ」。前回までの意見交換や「まち歩き」を思い出しながら、「ある土曜日のまちなかでの過ごし方」をイメージし、4～5枚の紙芝居形式のシナリオづくりにチャレンジしました。

ワークショップには、高校生、短大生から40歳までの年代の24名の皆さんに参加していただきました。当日の様子は宮古市ホームページ、および宮古市公式facebookページにも掲載されています。 <https://www.facebook.com/city.miyako>

市民ワークショップ 各班でのシナリオづくりの様子

シナリオづくりの作業に先立ち、弘前大学の北原先生より、「大人の「上から目線」ではなく、子どもの「身の丈目線」で考えてみよう」とのアドバイスがありました。

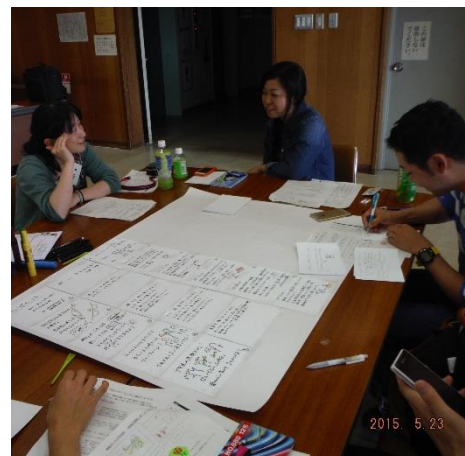
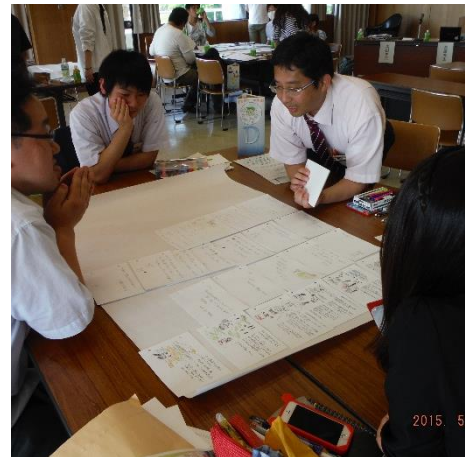
まずは、各自でのシナリオづくりの作業です。「ある土曜日に宮古のまちなかでどのように過ごすか」をイメージしてストーリーをつくります。主人公は、自分でもよいし、他の人でもかまいません。どこか1つのシーンには、現市庁舎の跡地が舞台になるようにするのが条件です。そのストーリーを、紙芝居のように1枚ずつカードに記入していきましました。

それから、班のなかで一人ずつ自分のつくったシナリオを発表し、班のメンバーで共有しました。

さて、いったいどんなシナリオができたのでしょうか…



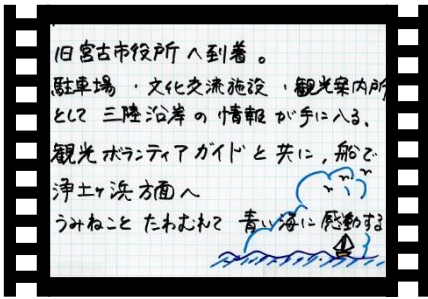
自分が考えたストーリーを、班のメンバーに発表しました



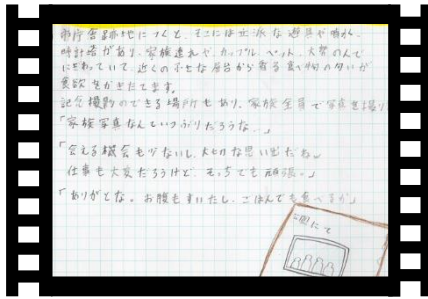
模造紙にカードを並べて貼って、シナリオ完成！

どんなシナリオ、どんなシーンができたでしょう…

参加者の皆さんがつくったシナリオの1シーンをいくつか紹介します。皆さん、いろいろなまちなかでの過ごし方をイメージしてくれました。



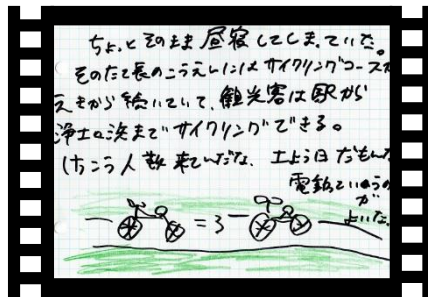
帰省した同級生達と、船で浄土ヶ浜へ！



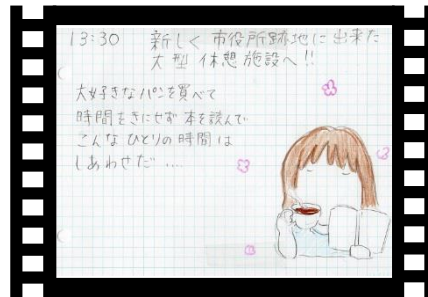
単身赴任中のお父さんが宮古へ。久しぶりの家族写真。



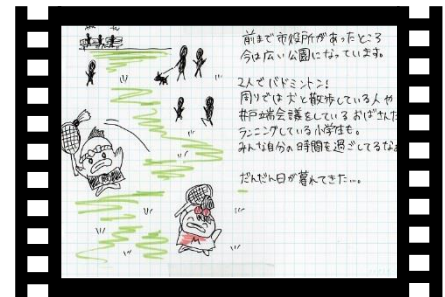
子どもが遊ぶのを見ながら、ママ友とおしゃべり



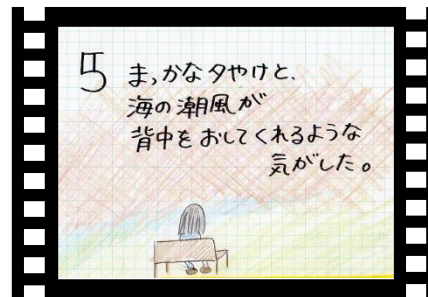
電動自転車で浄土ヶ浜までサイクリング



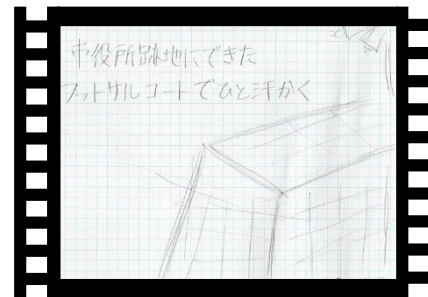
パンを食べながらゆっくり読書…しあわせな時間



高校生カップルは公園でバドミントン



仕事で怒られた日の夕方、夕やけに元気をもらう



カフェでランチのあとは、フットサルコートでひと汗



今ドキ女子は、夕日を見ながらヨガで自分みがき

今後の予定…現市庁舎跡地での過ごし方をイメージしてみます

各班からの発表の後、北原先生からコメントをいただき、第6回ワークショップは終了しました。

次回の第7回ワークショップのテーマは「現市庁舎跡地での過ごし方をイメージしよう」。今回つくったシナリオをベースにしなが、さらにイメージを膨らませてみます。さあ、皆さんで、跡地を舞台にしたいろいろな「私の1シーン」をつくっていきましょう。

その後、これまでの成果をまとめて、8月1日(土)に市長へのプレゼンテーションを行う予定です。今後ぜひご参加ください！

第7回ワークショップのお知らせ

「現市庁舎跡地での過ごし方をイメージしよう」

日時: 6月20日(土) 13:30~16:30
場所: 市役所6階大ホール

参加は自由です。興味のあるお知り合いの方がいましたらぜひお誘いください！

問合せ先
宮古市役所復興推進課
電話 68-9089



みやこちゃん